

このニュースレターは、県内に拡がりつつある自殺対策支援の輪を強化すべく、地域の自殺対策のノウハウに関する情報を発信していきます。皆様からの情報やご意見をお待ちしております。
今月号は、「**自殺対策とアルコール問題**」についての特集をお届けいたします。

ニュース

最近の自殺者の状況

警察庁の自殺統計に基づく11月の自殺者数

平成24年12月7日に内閣府から発表された「警察庁の自殺統計に基づく自殺者数の推移等」によると、全国の平成24年11月の自殺者数(2,155人:速報値)は、対前年比101人(約4.5%)減、平成24年1～11月の累計自殺者数(25,754人:速報値)は対前年比2,800人(約9.8%)減となりました。岩手県の前年同月比は、10人(約32.3%)減少で、**前年比減少率が全国3位**でした。この減少傾向を維持していくようご協力をお願いいたします。

なお、増減率上位県は右表のとおりです。

対前年同月自殺者増減率上位5県(内閣府)

		平成23年	平成24年	対前年比	
				増減数	増減率
増加	山口	18	33	15	83.3
	富山	15	22	7	46.7
	山梨	21	30	9	42.9
	秋田	30	42	12	40.0
	山形	19	24	5	26.3
減少	鳥取	12	7	△5	△41.7
	沖縄	31	19	△12	△38.7
	岩手	31	21	△10	△32.3
	福島	47	32	△15	△31.9
	千葉	112	77	△35	△31.3

※平成23年は確定値、平成24年は速報値である。

東日本大震災に関連する自殺者の状況(内閣府)

平成24年から12月18日に内閣府から「東日本大震災に関連する自殺者数(平成24年11月分)」が発表されました。岩手県では、8月以降自殺者はありませんでしたが、11月に2人が亡くなりました。今後、更なる被災者及び支援者への支援の継続が必要です。

東日本大震災に関する自殺者数(人)	平成23年	平成24年1月～11月							
		1～6月	7月	8月	9月	10月	11月	1～11月計	
全国	55	11	1	1	0	4	3	20	
内訳	岩手県	17	4	1	0	0	0	2	7
	宮城県	22	1	0	0	1	0	2	
	福島県	10	6	0	1	0	3	1	11
	その他	6	0	0	0	0	0	0	0

トピックス

自殺対策とアルコール関連問題

アルコール依存症は、本人及び家族の精神健康度を低下させるほか、自殺行動の衝動性を高めるなど、自殺の大きな危険因子の一つと考えられています。平成21年版自殺対策白書(内閣府)では心理的陪検の結果から、アルコール関連問題を呈する自殺既遂者の特徴として、①働き盛りの中高年男性が多いこと ②最後の行動に及ぶ際に飲酒していることが少なく、アルコールによる酩酊によって判断能力の低下、衝動性の亢進を呈していた可能性があること ③その多くがアルコール使用障害に罹患しているながらも、精神科において看過されていた可能性があること ④死亡前にアルコール関連問題を呈した自殺既遂者の6割は、アルコール使用障害に加え、他の精神障害も合併する重複障害であることが確認されています。自殺予防のためには、アルコール関連問題を抱える本人及び家族に対する適切な支援が必要であることから、精神保健福祉センターでは、個別相談以外にも、断酒会員による酒害相談



こちらのページから参照できます。



内閣府 自殺対策

<http://www8.cao.go.jp/jisatsutai/saku/toukei/tsukibetsu-h2411.html>

会、依存症者の家族を対象にした「アルコール家族教室」を開催しています。

アルコール関連問題を抱える本人は相談窓口につながりにくく、家族全体が地域で孤立化し、依存症者を抱える家族自身が心身の不調を感じ専門的なケアを必要とする状態になることが少なくありません。家族は依存者本人の回復に良い影響を与えうる存在であることから、家族が相談機関や家族教室・自助グループ(断酒会、AA など)に繋がり、健康を回復することが本人を支え続けるために重要です。

家族教室は、アルコール依存症についての正しい知識と対処方法を習得すること、アルコール依存症や飲酒の問題で悩んでいる他の家族との出会いや話し合いを通じて、家族が共感し合い、家族自身の健康を回復することを目指しています。

家族教室の参加人数は、平成 21 年度は 5 世帯延べ 25 名、平成 22 年度は 7 世帯 33 名、今年度は前期 10 世帯 38 名が参加し、支援ニーズの高さを再認識したところでした。

精神保健福祉センターでは、医療機関での治療、地域の支援機関での個別支援、集団支援、家族支援など、様々な機関が連携しアルコール依存者本人とご家族を支える地域づくりを目指していきますので、今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

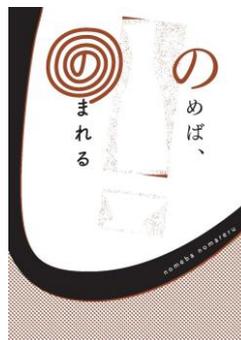
関連資料の紹介

アルコール依存症支援に携わる方々にご利用いただける資料紹介をいたします。資料は、各ホームページからもダウンロードができるほか、精神保健福祉センターに在庫がある資料もございますので、お問い合わせください。

パンフレット「のめば、のまれる」

アルコールと自殺の結びつきについて、広く社会に啓発していくために作成されたパンフレットです。

アルコールにのめられた中高年男性のつぶやき、アルコールの負の影響(不眠やうつ症状の悪化、自殺を呼び寄せるなど)、自己チェックリスト(C.A.G.E 4項目中2項目以上あてはまると問題飲酒)、本人向けと家族・周囲の人向けの対処法(問題に気づくこと及び専門医療機関への相談の重要性)、主な相談窓口(精神保健福祉センター、保健所、自助グループ)が掲載されています。



飲酒問題スクリーニング・介入ツール

現場で使用可能な、飲酒問題のスクリーニングと介入ツール一式です。このツールは、まず対象者の飲酒問題の程度を評価し、アルコール依存症までに至らない大量飲酒者には減酒指導を、依存症者には医療機関への紹介を進めるようにできています。

インフォメーション

★ ファーストエイド・アドバンス研修(薬物依存症編)

今年度、アルコール関連問題への対応を学ぶため、メンタルヘルス・ファーストエイド指導者養成研修受講者へのフォローアップ研修①、②を開催したところですが、依存症問題について、地域のさらなる技術向上を目指し、支援者を育成するために、アドバンス研修を開催します。内容は、薬物依存症関連問題の新たな課題とされる脱法ハーブ依存、処方薬依存を含む薬物依存症について、動機づけ面接を用いた支援の実践について学びます。

〈日時〉平成 25 年 2 月 6 日(水) 13 : 30 ~ 16 : 40 (予定)

〈会場〉岩手県福祉総合相談センター 4階 大会議室 (盛岡市本町通3丁目19-1)

〈対象者〉平成 24 年度開催「ファーストエイド・フォローアップ研修」①、②受講者
「動機づけ面接」の基礎が理解できており、すでに実践している方

〈内容〉「薬物依存症問題の現状と支援
～動機を引き出し、支え、つなぐ方法を事例から学ぶ～(仮)」

〈講師〉神奈川県立精神医療センター せりがや病院 医長 青山 久美 先生

※詳細は順次、精神保健福祉センターHP、ツイッターなどでお知らせいたします。

★Twitter で岩手県精神保健福祉センターの最新情報を発信しています

→ http://twitter.com/iwate_seishinhk

心が疲れている・心の病気で悩んでいるときは…精神保健福祉センター「こころの電話相談」へご相談ください。

問合せ

岩手県精神保健福祉センター
担当：佐々木
☎019-629-9617

こちらのリンク先から資料
をダウンロードできます

自殺予防総合対策センター



<http://ikiru.ncnp.go.jp/ikiru-hp/pdf/nomeba100123.pdf>

久里浜医療センターホームページ



<http://www.kurihama-med.jp/hinsai/index.html>

問合せ

岩手県精神保健福祉センター
担当：佐々木
☎019-629-9617

「こころの電話相談」

☎019-622-6955

受付：月～金 9:00～16:30